

平成22年度の主な事業



幹線道路の整備 1億7,520万円
(東条社線、天神横谷線等)



やしるこどものいえ増築工事 5,885万円



小・中学校の施設整備 3億1,618万円
(耐震補強、防犯カメラなど)



消防施設の整備 6,244万円
(消防・救急車両、防火水槽等)



災害対策事業 5,540万円
(排水ポンプ積載車の導入等)



電子カルテシステム導入 1億4,238万円
(平成22年12月・平成27年11月の5か年分)

- 乳幼児医療費給付事業 1億2,392万円
- 子ども手当事業 7億470万円
- 農地・水・環境保全向上対策事業 2,425万円
- 歩車共存化整備事業 2,466万円
- 生活道路の整備 1億9,336万円
- 高岡団地建設事業 9,853万円
- 滝野文化会館整備事業 1億2,584万円 など

住みよいまちづくりに向けて、
さまざまな事業を実施しました。



ひと目で分かる 決算のポイント

2年連続で収支黒字を達成
(実質単年度)

市の貯金(基金残高)
約10億円増加(82億5,609万円)

市の借金(地方債現在高)
約16億円減少(399億9,770万円)

無駄をなくし、
財政の健全化に
取り組みました。



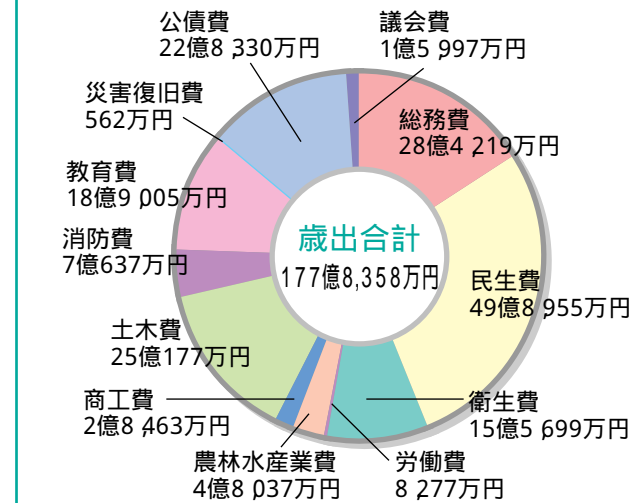
加東市の家計簿を お知らせします

平成22年度は、行財政改革の基本目標のもと、積極的な歳入の確保と、歳出の効率的な執行や節減を行い、引き続き健全な財政運営に努めました。

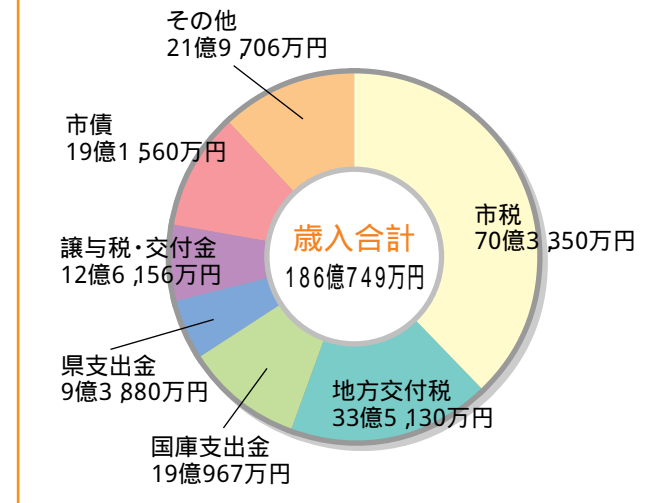
その結果、平成22年度決算では、一般会計の財政状況を示す各種財政指標の多くが改善し、経常収支比率

は90・8%から82・9%に、実質公債費比率は19・2%から16・7%となりました。また、市全体の基金総額は82億5,609万円、前年度比10億2,883万円の増額、市債残高は399億9,770万円、前年度比16億7,906万円の減額となりました。

一般会計歳出内訳



一般会計歳入内訳



- 【議会費】議会活動の費用
- 【総務費】一般的な管理事務、徴税、選挙、財務事務、人件費などの費用
- 【民生費】生活保護や児童、障害者、高齢者などの福祉の費用
- 【衛生費】ごみ処理や健診など保健衛生のための費用
- 【労働費】労働対策などの費用

- 【農林水産業費】農業、林業などの振興のための費用
- 【商工費】商業や工業の振興、観光事業などの費用
- 【土木費】道路、公園、市営住宅などの整備や管理の費用
- 【消防費】消防、救急、災害対策などの費用
- 【教育費】学校、幼稚園の運営や学校施設の整備などの費用
- 【公債費】公共施設を整備するためにした借入金の返済費用

歳入
主要財源である市税は、個人市民税は減収となりましたが、法人市民税が増収となったことにより、前年度に比べて7,378万円(1・1%)の増額となりました。

地方交付税は、1億9,478万円の増額となりました。市債は、普通交付税の代替財源として発行される臨時財政対策債の増額により、前年度よりも増えています。

国庫支出金は、定額給付金事業の終了や経済対策等の交付金の縮小から、前年度に比べ、大幅な減額となりました。

歳出
総務費は、人件費が職員の退職などにより、前年度に比べ1億5,503万円減額したほか、定額給付金事業等の減により、大幅に減額となりました。

一方、民生費は子ども手当事業の創設や、児童館、私立保育所の施設整備等により増額、教育費も小・中学校、文化会館、集会所等の整備により増額するなど、子育てや教育施設の整備に積極的に取り組んだことにより、歳出全体では増額となりました。

歳入歳出決算会計別一覧

会計別	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	186億 749万円	177億8,358万円
特別会計		
国民健康保険会計	37億2,952万円	36億1,331万円
老人保健会計	778万円	778万円
後期高齢者医療会計	3億3,095万円	3億2,430万円
介護保険事業会計	26億8,449万円	26億6,555万円
介護保険サービス事業会計	4億7,366万円	4億7,358万円
小計	72億2,640万円	70億8,452万円
企業会計		
病院事業会計	23億4,992万円	23億8,527万円
水道事業会計	13億1,958万円	12億6,105万円
下水道事業会計	14億4,973万円	16億8,965万円
小計	51億1,923万円	53億3,597万円
合計	309億5,312万円	302億 407万円

企業会計は、収益的収入額(使用料等)および支出額(維持管理費等)を計上しています。

【一般会計】

歳入歳出差引額8億2,391万円のうち6,063万円は、繰越事業に伴う一般財源等所要額です。また、4億5,000万円を財政調整基金に繰り入れることとし、純繰越額は、3億1,328万円となります。

【企業会計】

病院事業会計および下水道事業会計ともに差引額が赤字となっていますが、両会計とも資金収支は黒字です。

決算概要